

シンジュ
集落

カイ！
セキ様がいらして
ますわよ

たっ
たっ

ああ、セキ
もう来たのか
少し忙しくてな
また後で

あっ
ナリ

えっっ、

ちよつと
カイ！？

...

仲
いい
ワケ

だからど
甘える
には...!!

あの子ったら...
すみません、セキ様

という
感じでして...

いや、
構わねえよ

さっき...
ごめん
つい冷たく
してしまった

気にすんな
早く仕事済ませて
来てくれたんだろ？

あつ、
そこは...ッ

ズ
ラッ
ズ
ラッ

ああッ、
...ッ

ん？

すき

あ、

あ、

あ、

あ、

は、

...せき、

あ、



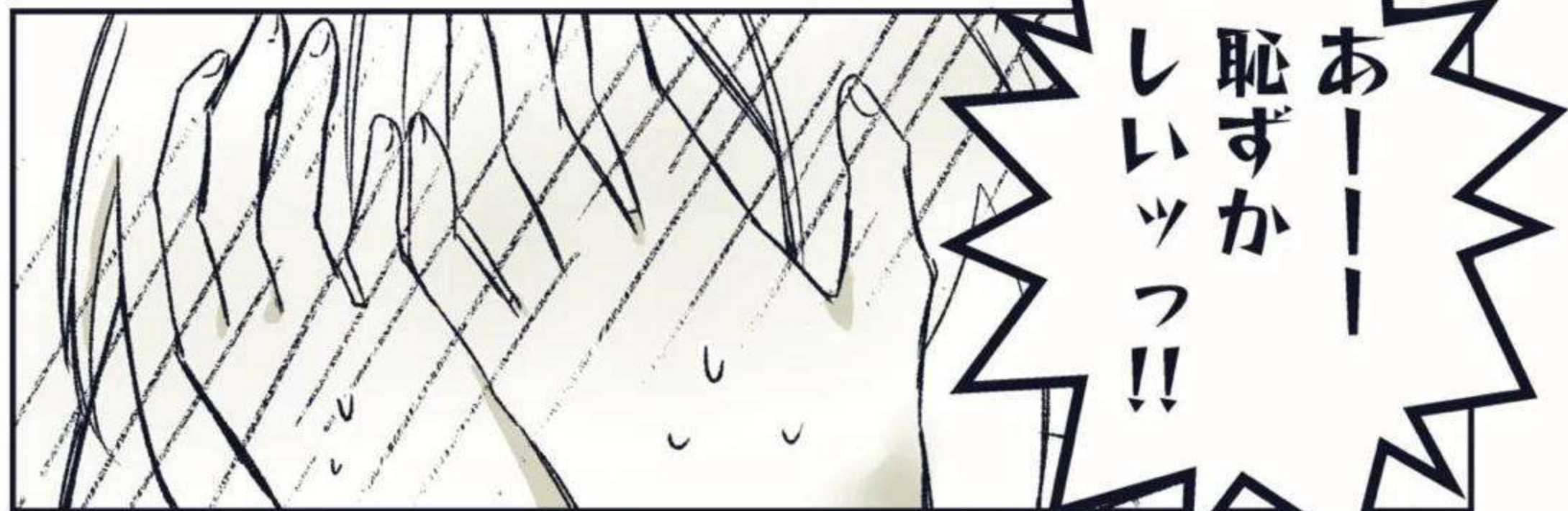
昼間は
凜とした長だが

抱くとすっげえ
素直になるのを
知っているから



この差が
また
たまらない

あー…
かわいすぎる



嘘なんて
一切ない
からこそ

恥ずかしい
んだ……ッ！

な、ななな
なんだ！

いや
幸せだなと
思って

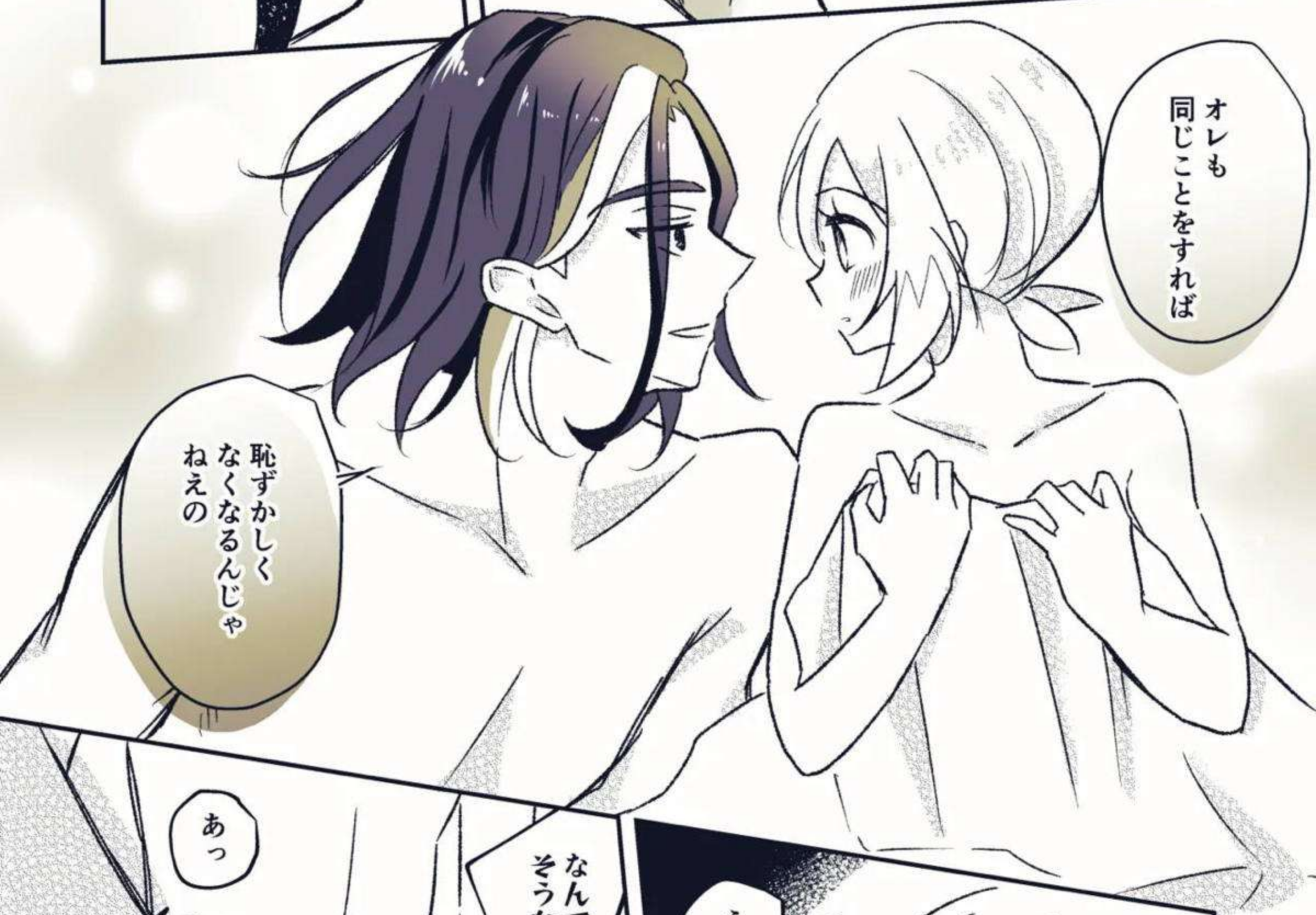
ちゅっ

ギョーッ



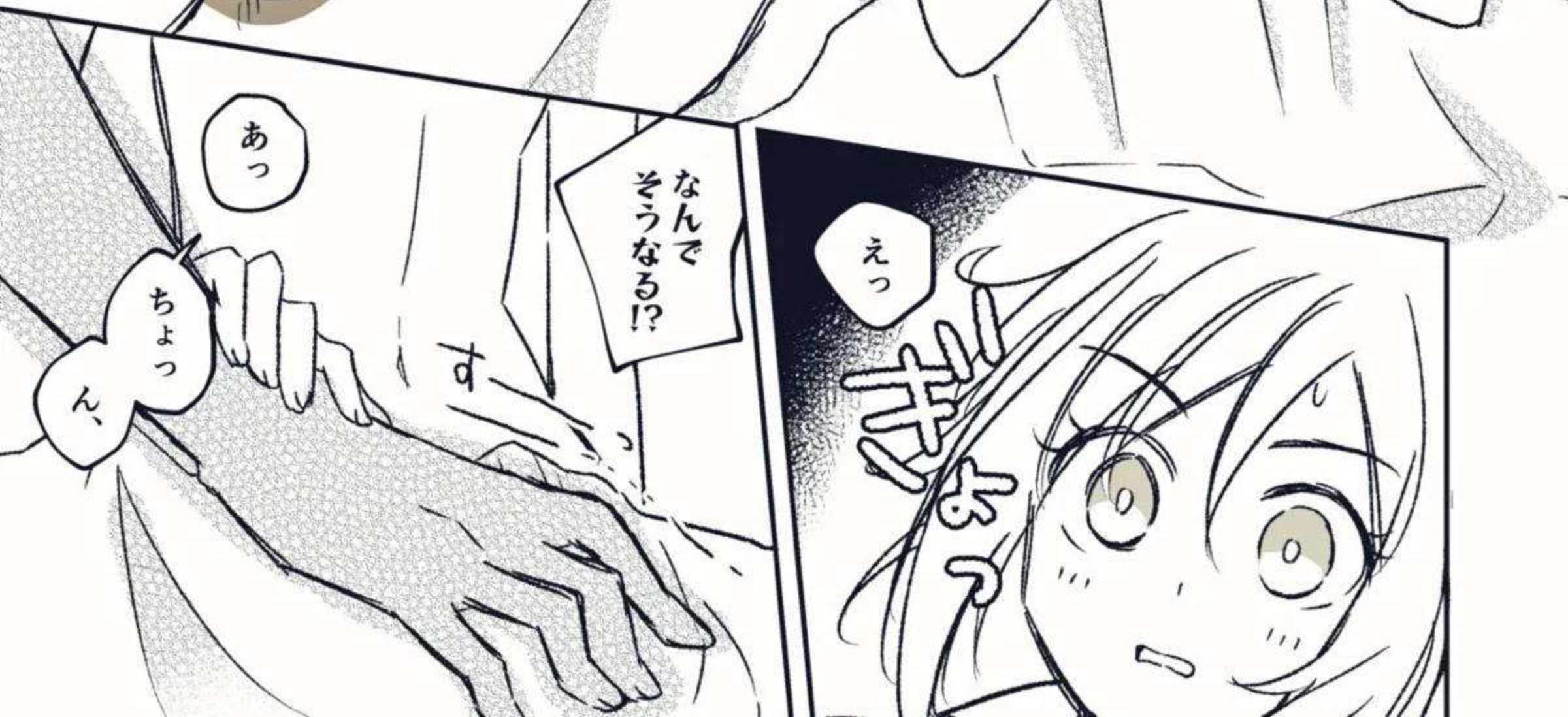
だったら――

たっ



オレも
同じことをすれば

恥ずかしく
なくなるんじゃ
ねえの



えっ

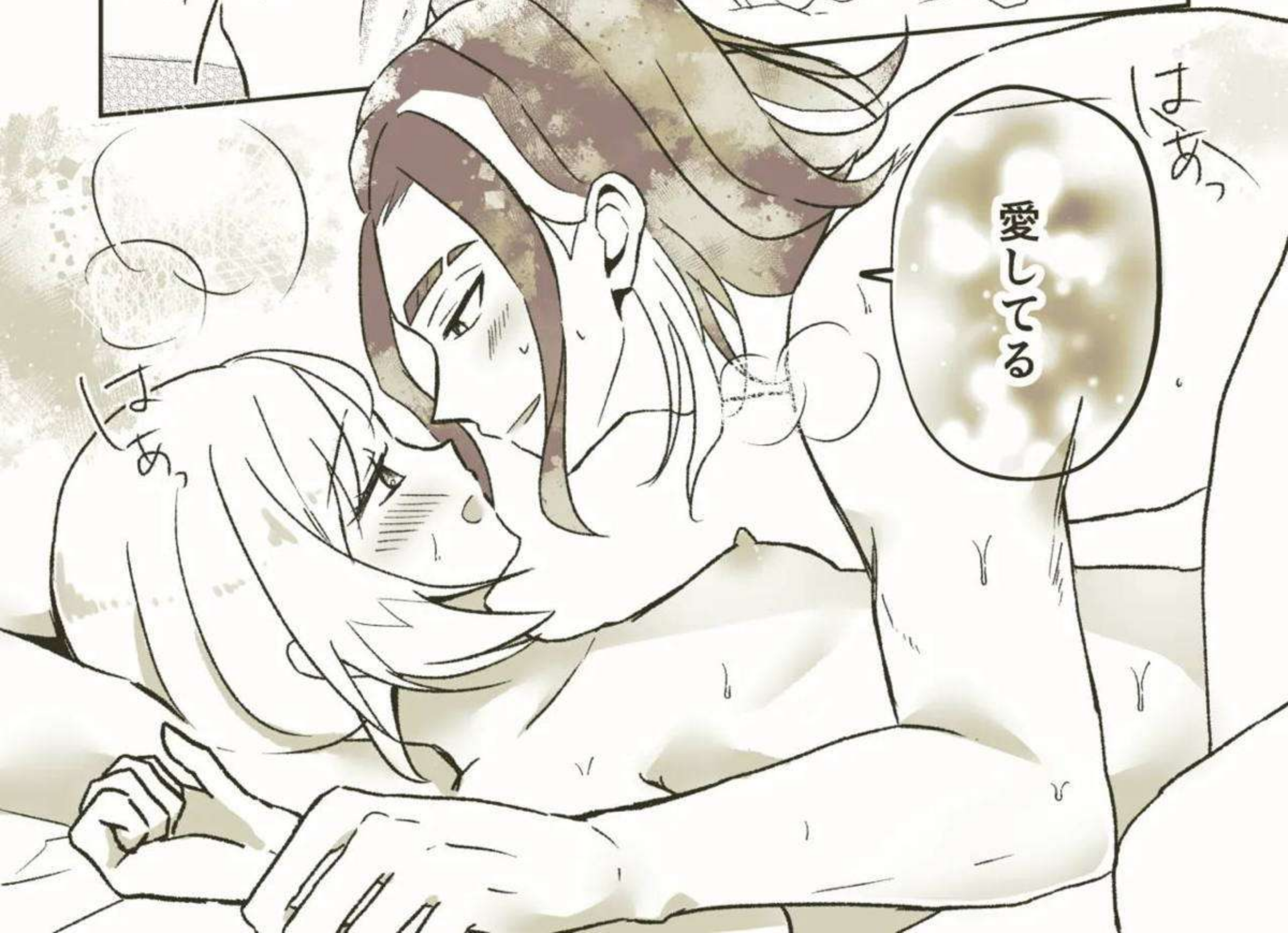
えっ
えっ

なんで
そうなる!?

あっ

ちょっ

ん、



ツ

カイ

はあ

もう何回
イったか
わからない

はあ

74...

七、

